

平成 16 年 10 月 15 日
独立行政法人 経済産業研究所

RIETI 政策シンポジウム

「多様化する日本のコーポレートガバナンス - 特定のモデルへの収斂？」

平成 16 年 10 月 20 日(水) 於国際連合大学

現在、日本企業は、戦後形成されたコーポレートガバナンス制度の大きな転換期に直面しています。メインバンクシステムや株式持ち合い、終身雇用制などの日本型経営は近年崩れつつあるように見えますが、なくなったわけではありません。また、近年の法改正、企業金融の革新、さらにグループの再編や国際化を通じた企業の境界の再設定によって、新しいコーポレートガバナンスのパターンが出現してきています。しかし、こうした変革がどれだけ本当に広がっており、また、どれだけの影響をもっているかについて、専門家の間に一致した見解はありません。これらの変革が意味するのは日本企業も米国モデルに収斂しつつあるということでしょうか。あるいは、日本企業は新しい、別の形のコーポレートガバナンスを発展させつつあるのでしょうか。また、改革によって企業パフォーマンスは向上するのでしょうか。言い換えれば、パフォーマンスの向上に寄与する改革とはいかなるものなのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、RIETI において行われた、第一線に立つ内外の専門家による近年の日本企業のコーポレートガバナンス改革に関する実証研究の成果をご紹介致します。報告を通じて、近年、日本企業がそれぞれ異なった度合い、組み合わせで多様な改革を試みていることが明らかになります。さらに、多様なパターンでのコーポレートガバナンスの出現は、均一なコーポレートガバナンスしか形成されないという従来の「日本モデル」概念を疑い、一国の中でのコーポレートガバナンスの多様性を理解する研究への新しい課題を提起いたします。また、この多様化を理解することが、今後の企業改革やそのための制度設計において重要な意味をもつことも強調されます。

記

1. 日時：平成 16 年 10 月 20 日(水) 9:00-18:00
2. 会場：国際連合大学エリザベスローズホール（東京都渋谷区）
<http://www.unu.edu/hq/japanese/access/index.html>
3. 開催言語：英語 日本語（同時通訳あり）
4. 参加費：800 円[公印を捺印した領収書を発行いたします。]
5. 主催：独立行政法人経済産業研究所
6. プログラム・スピーカー（詳細は <http://www.rieti.go.jp/jp/events/04102001/info.html>）
 - セッション 1：企業の経営悪化と企業・銀行間関係 蟻川靖浩（RIETI ファカルティフェロー）、
冨田（RIETI ファカルティフェロー）、堀内昭義（中央大学教授）
 - セッション 2：変貌する所有構造：企業は誰のものか？ 宮島英昭（RIETI ファカルティフェロー）、
Christina L. AHMADJIAN（一橋大学大学院教授）、小佐野広（京都大学経済研究所教授）
 - セッション 3：取締役会の変革：いかに理解するか 宍戸善一（成蹊大学法科大学院教授）、
矢内裕幸（日本取締役協会専務理事）他
 - セッション 4：雇用の側面からみた企業統治 阿部正浩（RIETI ファカルティフェロー）、
Gregory JACKSON（RIETI 客員研究員）、宮本光晴（専修大学大学院教授）
 - セッション 5：総括 吉富勝（RIETI 所長・CRO）、伊藤秀史（一橋大学大学院教授）、
寺西重郎（一橋大学経済研究所教授）他

以上

【シンポジウム参加お申し込み・お問い合わせ】

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/04102001/info.html>

RIETI コンファレンス担当 松倉多恵子 (conf-cgovernance2@rieti.go.jp) Tel:03-3501-8398

【取材等のお申し込み・お問い合わせ】

RIETI 広報企画担当 (info@rieti.go.jp) Tel:03-3501-1375 Fax:03-3501-8416